

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	肘関節スポーツ障害の病態解明およびリスク因子の検討		
2. 対象患者	肘関節のスポーツ障害に対して弘前大学医学部附属病院整形外科にて保存治療や手術治療を行った患者様およびスポーツ障害以外の肘関節疾患で受診した患者様を対象とします。		
3. 対象となる期間	2000年1月1日 ~ 2022年3月31日		
4. 実施診療科等	整形外科		
5. 研究責任者	氏名	亀井敬太	所属 整形外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	投球動作によるスポーツ障害として広く知られる野球肘の病態の一つに上腕骨小頭離断性骨軟骨炎があります。これは進行した場合に手術が必要となるため、早期発見・早期治療が重要とされます。その病因や危険因子、野球肘の他の病態との関連は不明な点が多く、解析が必要です。		
8. 研究の目的	肘離断性骨軟骨炎(OCD)を含めた肘関節スポーツ障害の病態に関わる因子や成績不良因子を患者様の背景や画像データなどから検討することです。また、3Dモデルを用いた肘関節のバイオメカニクス解析を行い、肘関節スポーツ障害のより詳細な病態解明を行います。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	肘OCDの患者様の当科臨床経過観察中に施行された画像検査のデータから、肘OCD、上腕骨内側上顆病変の形態を検討します。患者様の臨床所見から本人の手術時所見やそのときの身体所見、検査所見を用います。肘OCD精査以外の目的で肘関節検査を行った被験者様に対し、肘関節周囲の単純CT画像検査のデータが取得済の場合、個人を特定されない形にて使用します。CT画像データをもとにPC上で3Dモデルを作成し、関節周囲のバイオメカニクスを解析するソフト(Mechanical finder®)にて肘関節周囲にかかるストレスを検討します。		
10. 個人情報の保護	収集する情報には個人を特定できる情報を含まず、発表に際しても個人を特定できる情報は含みません。対象者の方より拒否の申し出があった場合、研究対象から除外しデータを削除します。ただし、既に研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	整形外科学講座の研究費を用いて実施されます。利害衝突が起こる研究ではありません。本課題に対しては、企業からの資金提供はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部整形外科学講座 亀井敬太		
	電話	0172-39-5083	FAX 0172-36-3826